

顔



ささもと・もりおさん
常磐ホテル社長。県旅館
生活衛生同業組合理事
長。55歳。

旅館やホテルでクラフト展を
開催している湯村温泉旅館協
同組合理事長

笹本 森雄さん

共同事業で情緒ある街に

二十四日まで「湯村温泉郷の
夏、クラフト展」を開いている。
点在する六カ所のホテル、旅館
にクラフト作家十人のランプや
ニットなどの作品を展示、宿泊
業務が中心で共同事業はほとんど

客らに温泉郷内を回遊してもら
うことを目指している。六月末
に始まり、一カ月余りが経過。
「確実に歩いていく人が増えた
と手応えを感じている。
現在の組合加盟数は十八軒。
最盛期の昭和三十年代に比べ五
軒減少した。歴史がある温泉地
だが、「次第に知名度が落ちて

なかつたが、二〇〇一年に理事
長に就任し、研修旅行や、旅行
会社や大学教授らを講師に招い
て不定期の勉強会を開催。組合
員が低迷している温泉郷に、に
ぎわいを取り戻すためのプロジ
ェクトを出し合っている。「組
合員の気持ちと同じ方向になり
つつある」と言う。

目指すのは「浴衣を
着てそぞろ歩きできる
ような温泉街」。情緒
的な雰囲気をつくり出
す策を練っている。「土
地のものを大切にして
いけば生き残れる。身
近な資源を発掘して、
地元の宝として磨き上
げていきたい」と、秋には湯村山
の散策ツアーを計画している。
地場産業と観光の連携も模
索。今冬には常磐ホテルで宝飾
業界などと協力してジュエリー
ファッションショーを行う。

湯村温泉の一番の資源であ
り原点である温泉を活用した
共同事業として、昨年から宿泊
客を対象に、十軒のホテル・旅
館の温泉を一律料金で入浴でき
る「湯巡り手形」サービスを実
施している。
「次世代に喜んで引き受けて
もらえるような組合づくりをし
たい」との決意で締めくくった。
(杉原 みずき)